

OSBEELS (オレゴン州試験ボード) のExaminations & Qualifications Committee (試験資格審査委員会)の議事録と、(Washington) Board of Registration for Professional Engineers and Land Surveyors (ワシントン州登録ボード) の議事録の内容をお知らせします。今回は、オレゴン州は2015年6月12日分の内容をチェック。ワシントン州は2015年4月、6月の議事録から、受験者・登録者に関連する記事をピックアップしてお届けします。

オレゴン州

(以前からの案件)

Comity 申請

- Washington 州ボードで、履修科目証明の提示を求められていたが、OSBEELSのある委員が改めて、これが申請者の業務の制限を解除する条件となると説明。この制限には排水溝、ダム、堤防などの改善、補修、改築などに係るエンジニアリング業務が該当する。申請者は、これらのエンジニアリング業務には関わっていないので、これらの科目も履修していないと説明。委員からは、1998年当時のWashington州登録時のボードとのやり取りを提示するよう要求、進展なし。

PE 受験

- 委員会では、申請者からのReferenceを1名減ずる要望を拒否する方針であり、2か月以内にReferenceを確保し申請するよう通達していた。委員会では申請を取り下げるよう勧め、申請者は従うことにした。申請者は受験料を返還するよう要望したが、返還不可と結論した。

(新規申請)

- ある申請者が、Federal Aviation Administration (FAA, 連邦航空局) の Designated Engineering Representative でもreferenceとして認められるか、と質問。委員会では、それは断言できないが、PEが少ない分野では免除する場合もあると説明。またindustrial exemption (筆者注：企業活動においては特定の設計業務についてPEの関与が必須でなくなる免除規定)に該当するか判断するための法規規定を連絡した。
- あるFE受験申請者が、申請書の「Are you currently practicing or offering to provide engineering, land surveying, or photogrammetric mapping services for projects in Oregon?」という質問に「Yes」と回答していた。本人に確認したところ、ある会社で電気エンジニアとして勤務していた、との回答だった。委員会では更に確認することとした。(筆者注：米国では「エンジニア」を名乗りエンジニアリング業務を行うことができるのはPEのみであるので、申請時には注意を要する)
- 40名のFE/FLS (Fundamental Land Surveyor) 受験者が、10か月以内に履修証明を提出する、との条件で受験を許可されたが、提出できていないために得点を無効とすることを検討している。委員会で討議の結果、この結論を繰り延べした上で、受験者に近々可決見込のSenate Bill (SB) 297

の内容を伝え、このまま不十分な状態で審査を進めるか、SB 297 可決を前提に、将来申請資格が満たされたときにPE 受験を申請するか、どちらかを選択するよう伝えることを提案した。(筆者注：SB 297 は、要件を満たせばFE 試験が免除になる規定であるが、6 月12 日の時点では可決されていない。Senate bill 297)

(PE 受験申請)

- 4 月受験の申請料を10 月試験に回すよう、診断書を添えて要望 ⇒ 承認された。

(再申請)

- FE 試験に2 回不合格となり、3 回目の申請 ⇒ 受理。
- FE 試験に2 回不合格となり、5 回目の申請 ⇒ 受理。

(Comity 申請)

- Electrical PE、1987 年のArizona 州ボード議事録に登録の記録はあるがPE 試験のデータがない。FE 受験がArizona 州登録より後であり、委員より委員会に、このまま登録することはできないと報告。SB 297 可決後であれば、PE 再申請できる可能性がある。委員会ではSB 297の内容が申請者に伝わっているという前提で、このまま進めることはできないとその申請者に連絡することにした。
- Electrical PE、申請書の「Have you ever had a professional engineering, land surveying or photogrammetric mapping registration denied, revoked, suspended, stipulated, on probation, or been subject to any restriction or disciplinary action in any jurisdiction?」の質問に「No」と回答していたが、Utah 州、Nevada 州で何らかの問題があったことが判明した ⇒ 申請を受理せず。
- Civil PE、Oklahoma 州で登録されているがFE 試験を免除されている。現行のOregon 州規則ではFE 受験が必須となっている ⇒ 申請を受理せず。

(Oregon 州が初めての登録申請となるケース)

- Mechanical PE、NCEES の履修科目評価で一般化学が不足している。8 年1 か月の職歴がsupervisory PE に証明されている ⇒ 申請を受理。
- Mechanical PE、NCEES の履修科目評価でengineering sciences and design が2 単位不足している。5 年8 か月の職歴がsupervisory PE に証明されている ⇒ 申請を受理。
- Civil PE、NCEES の履修科目評価でhigher mass/basic sciences が10 単位不足している。7 年の職歴がsupervisory PE に証明されている ⇒ 申請を受理。
- Civil PE (会員の杉本 悠 様)、Reference の1 名減免を要望。7 年5 か月の職歴のうち、1 年6 か月をsupervisory PE が証明。**職歴は日本の技術士であるreferences も証明しており、日本で登録PE を見つける困難にも考慮 ⇒ 申請を受理。**(おめでとうございます)
- ある申請者は、proposed order から90 日以内にfinal order を発行しなければならない、という規則に1 日遅れた (筆者注：恐らく、OSBEELS がある申請についての解決策提案をしてから90 日以内に、Oregon Administrative Hearing [OAH] 事務局から、その方針に基づいて、申請承認のためのfinal order を出す必要があり、その間に申請者が必要書類を提出するよう求められている、とい

う意味と思われる)。討議の結果、OAH 事務局と申請者に、final order 発行が遅れることを通知することとした。

ワシントン州

(4 月27 日 Special Board Meeting)

- 特筆するような記述はなし。

(6 月16 日 Regular Board Meeting)

- Exam / Qualifications Committee のrecommendation
- On-site 受験者はスコアが70/100 未満の場合カットする。
- Comity 申請者はFE を受験していることを必須とし、免除は認めない。